

平成30年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人池田学園 東京服飾専門学校

学校関係者評価委員会

1.教育理念		
A 学校の理念に基づいた教育が行われているか	職員全員が念頭にしており、広報物でも配布している。	4
B 学校における職業教育の特色は何か	創設者の池田淑子が考案した池田式製図法をはじめ、実践的な技術や知識を身に付けられるよう指導を行っている。学生ひとりひとりが知識や技術を確実に身につけられるよう、懇切丁寧な教育・指導をする。	3
C 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	郊外からの業界関係者、有識者を多くゲストに招き連携を強め、より実践的なカリキュラムの内容と、将来の産業を踏まえた学科編成を行っている。	4
D 学校の理念・目的・育成・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	広報資料やホームページ、入学式や卒業式の挨拶などで学生や保護者に対して周知を行っている。	3
E 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	産学合同授業や研修先の企業・人物と連携を図ることで、現場で求められる知識や技能、人格を確認。対応した知識や技術を持った学生を育成するべく、授業内容や設備の拡充を行っている。	4

2.学校運営		
A 目的等に沿った運営方針が策定されているか	「ファッション業界での即戦力となる人材の育成」を目標に、学生が目指す職種に合致した教育を行うことを全教職員に徹底している。	3
B 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	理事会、運営部で計画策定がなされている。	3
C 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	運営部において明確化されている。	4
D 人事、給与に関する規定等は整備されているか	昇進制度や賃金制度については、学内の規定により定められている。	3
E 教務・財務当の組織整備など意思決定システムは整備されているか	教務、財務等において主幹人事を配置し意見決定システムが機能している。	4
F 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	事前の面談や誓約書を用いて、教職員および学生が、研修先企業の機密情報に触れる機会も多いため、コンプライアンスに対する意識教育を徹底している。	3
G 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	産学合同授業や研修などの授業内容や、就職実績などの情報を学校資料・ホームページ・オープンキャンパスの説明会資料で公開している。	3
H 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	アカウントメールなどの校内ネットワークを構築して業務上の連絡を効率化しているほか、学籍管理ソフトを使用して出欠や成績、就職先などのデータを集約している。	3

3.教育活動		
A 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	理事長以下、教務、学科により、編成・実施計画が策定されている。	3
B 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	年二回のシラバス会議、学科毎の分科会等において、進行状況や実習実戦機会が検討される。	3
C 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	学科長を中心に、外部講師とも連携の上で必要なカリキュラムとその配分などを考慮。体系的な指導が行える体制作りを行っている。	3
D キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	各実務経験者によってカリキュラムを作成、実践的な授業内容を行っている。これに加え、産学合同授業や研修先企業からの情報をフィードバックを行い、最新の現場状況に合致した教育を行っている。	3
E 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	教育課程編成委員会に参加いただいている企業や業界団体の方からの意見を、カリキュラム編成や教育環境整備の参考にしている。	4
F 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	研修インターンシップについては、専門部署、担当者を配置し年間3,000件を超える機会創出を行い、産学連携では就職指導担当と企業対策室の連携から協力企業の誘致を強く図っている。	5
G 授業評価の実施・評価体制はあるか	学期末には学生に対して、授業内容に対するアンケートを行い、学生からの評価も確認することで、授業内容の向上に役立てている。	4

H 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	教育編成委員会や、教職員研修先よりご意見を伺い、取り入れている。	3
I 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	共通の評価項目による評価。 独自の進級・卒業判定を用いながら、合わせてGPA評価も行っている。	3
J 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	、学科ごとに主要な資格に対しては、必要な知識や技術を指導する検定合格を目的とした授業を設けている。ただし、学生の経済的な負担を考慮して、資格の取得を必須条件とはしてはいない。	3
K 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	各学科ごとのスキル、技術実務経験者を専任とし、講師に現役スタッフを確保している。	
L 関連分野における業界等との連携において、すぐれた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	特になし	2
M 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	校外講演会や講習会へ教職員を派遣し、技術や指導の維持と向上に努めている。	3
N 職員の能力開発のための研修等が行われているか	教職員に対しての内外勉強会への参加、視察研修を行っている。	3

4.学修成果		
A 就職率の向上が図られているか	企業人事の方による企業説明会、OBOG訪問、1年次からの就活ガイダンス授業など担任・就活担当によるサポートを行っている。	3
B 資格取得率の向上が図られているか	特になし	2
C 退学率の低減が図られているか	目的目標変更などによる転科しやすい環境を整備。担任制により、保護者との連携をはかり対応を行っている。	3
D 卒業生：在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	事務・広報部内に、担当者を設け、卒業生との連携、動向を把握し続けている。校友会を年一回開催している。	3
E 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	卒業生への実体験に基づいた授業内容の是非などを聞き取り、授業内容に反映している。	3

5.学生支援		
A 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	就職指導室、就職指導担当者を設けて各学科ごとに応じたきめの細かい就職活動支援体制を整えている。	3
B 学生相談に関する体制は整備されているか	事務内に学生課を設けて各種手続き関係のサポートを行い、担任制をとることで相談先を明確化している。	3
C 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	各種奨学金、教育ローンの取り扱い窓口を設置 3年進学時に、特待生制度を設けている。	2
D 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	事務内・学生課を設けて対応している。	3
E 課外活動に対する支援体制は整備されているか	学生による、同好会、サークルの設置が認められており、活動費の一部を学校が負担している。	4
F 学生の生活環境への支援は行われているか	運営部・事務において、被災に関する学費の減額や免除の対応を図っている。	2
G 保護者と適切に連携しているか	クラス担任制において、連携を図っている。	3
H 卒業生への支援体制はあるか	「永久バックアップ制度」により、支援をおこなっている。	4
I 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	単科コースを設けている。	3
J 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	高校での進路ガイダンス、職業体験実習等に教員を派遣している。 また、修学旅行先として体験実習を受け入れている。	3

6.教育環境		
A 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	年度始めに破損による不足や学生数増加に伴う、機材追加を行っている。	4
B 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	技術指導教員をもとに、学生の技術の習得率、習熟率を計り、事前に研修担当者との面談を行うことで、フォローも研修担当講師を中心に行っている。	5
C 防災に対する体制は整備されているか	防災備品の備蓄、日本赤十字による救命救急講習会を実施。	5

7.学生の受け入れ・募集		
A 学生募集は、適正に行われているか	文部科学省、東京都専修学校協会等の指針に基づき適正、厳正な学生募集を行っている。	5
B 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	就職実績として、HPやオープンカレッジなどで公開している。	4
C 学納金は妥当なものとなっているか	常に教材等の購入先業者の選定や経営努力を続け、学費の据え置きを続けている。	5

8.財務		
A 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	過去4年間に於いて2016年度112名、2017年度131名、2018年度158名、2019年度162名と毎年入学者が伸びており、来年度も現時点において前年度の願主出願者数を上回っている。 体験入学や学校見学希望者も多く、個別ガイダンス等、丁寧な説明やアドバイスは功を奏しており、収入が予算を下回った場合の預金も保持しており、安定した学校運営が見込めるものである。	3
B 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	毎年増加している学生数に対する備品数の調整、人員確保において、一年を通しての過不足の洗い出し、それに伴う予算編成を行っており、有効かつ妥当なものとなっている。	3
C 財務について会計監査が適正に行われているか	税理士法人ゆびすいに監査を依頼しており、毎月の月次決算を含め、公正かつ適正な会計処理及び決算を行っている。	3
D 財務情報公開の体制整備はできているか	各決算書類、財産目録の準備は整っている。	3

9.法令等の遵守		
A 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	学校法人として、教職員には法令順守を最優先事項として管理体制を確立している。	3
B 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	学生の個人情報については、名簿・成績等を事務にて一元管理しており、データ化された部分についても事務グループの中で、外部の専門企業と契約の上、ウィルス対策ソフトを導入したパソコンで対策をしている。	3
C 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	理事会等で報告を行っている。	3
D 自己評価結果を公開しているか	ホームページで公開を行っている。	3

10.社会貢献・地域貢献		
A 学校の教室資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	日本モデルエージェンシー協会のオーディション会場など、校外からの依頼に応えている。	4
B 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	養護施設への授業作品(衣料品)など、ボランティア提供を続けている。	3
C 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	中学校の職業体験実習として、中学生の受け入れている。	3

11.国際交流(必要に応じて)		
A 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	特になし	2

<p>B 留学生の受入れ・派遣、在籍管理棟において適切な手続き等がとられているか</p>	<p>留学生の受け入れについては、JLPTによる日本語能力試験・N2相当以上の語学力を有する学生に対して行い、学修・生活指導については担任が日本人学生と同様に個別に対応している。</p>	<p>4</p>
<p>C 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか</p>	<p>特になし</p>	<p>2</p>